

## 第2回沖縄県特定家畜伝染病防疫対策本部会議 議事概要

- 1 開催日時 令和4年12月20日（火）午後4時から午後4時20分まで
- 2 開催場所 県庁6階 第2特別会議室
- 3 出席者 知事、副知事、政策調整監、各部局長、警察本部長、教育長、病院事業局長、企業局長
- 4 議事

知事) 冒頭挨拶

家畜防疫対策監) 説明

農林水産部長) まずは、状況と補足を致します。御礼でございます。保健医療部におかれましては保健師等を派遣して頂き大変感謝申し上げます。それから県警におかれましては消毒ポイントの巡回をして頂きましていま無事（運用できている）状況でございます。宜しくお願いします。先ほど事務局からありましたとおり、これから新たな発生がなければ、順調に来ますと水曜日の夜9時までには（防疫措置を）終える予定でございます。これまでの状況でございますけど、木曜日午前には農家から通報があり、午後には即農水部北部の出先機関すべての職員を動員しまして防疫ステーションの設置、いろんな道具の設置等を行いまして、24時間体制で行いまして、なんとか水曜日の夜9時までには終える予定ではございますけど、いかんせん相手は自然相手ですので、拡大もしくは、どうも海を見ますと野鳥が多いように思えます。民間の方からによりますと死骸も見えると伺いましたので、新たな発生が起きた場合には、またこういうことやりますので、そのときにはぜひともですね全庁あげての体制になりますので協力願います。宜しくお願い致します。以上であります。

知事) はい、ありがとうございます。それでは、他に確認質問どうぞ。

知事公室長) 4万5千羽の飼養羽数から対策会議後の報道で約8,000羽が死亡していたと知り、殺処分数が3万羽と伺った。これは処置中に1万5千羽の鶏が死亡していったということか。

知事) 事務局説明をお願い致します。

畜産課) 処置中に死亡鶏が増えていました。

知事) 政策調整監どうぞ。

政策調整監) p7の全国の発生状況について、（渡り鳥による）発生地域に順番はあるか。

畜産課) 発生する地域は水辺近くで多い傾向がある。たとえば鹿児島市の出水市。ここは湖があり渡り鳥が来る。あとは香川の用水路とかですね、ため池が非常に多いところ、そういった水辺の近くはやはり発生が多くなっています。まあ基本的には北から順番に来るんですけども、今発生が多いのは(水辺の)そういった地域が増えてきている。

知事) 野鳥等の感染については、環境省と環境部はどのような連携をとっているか。

環境部長) 環境部では、12月16日の疑似患畜の発表後に、発生農場の半径10km圏内を野鳥監視重点区域にしております。当日から監視を強化しておりますけども、場所としては金武町、恩納村、宜野座村の干潟での監視をおこなっている。12月16日(金)以降、異常野鳥の通報はなかったが、12月18日(日)に死亡野鳥の通報があった。ただ、こちらは明らかに外傷によるもので感染によるものではないと判断した上で、特に簡易検査は行わなかった。引き続き、環境省と市町村、それから全県的に鳥獣保護監視員がおりますので、皆さまとの連携を図りながら監視を強化して参りたいと考えております。

知事) ありがとうございます。他に関連したご意見等ありますでしょうか。

総務部長) 想像したくはないのですが、仮に年末年始に発生した場合、何か起きたときに、全庁体制にするとすれば、事前にある程度体制は固めとかねば。もし農林だけで対応できないとすればどの程度の規模か。

島袋対策監) 連絡会議を持ちまして調整会議を行いました。その中で年末年始の動員についての名簿を作成を行っているところで、去年の実績では700名程度の名簿を作成しております。

知事) 他にご質問、確認意見等ございませんか。

宜しいでしょうか。これをもちまして、すべての議題が終了いたしました。今後も引き続き、迅速かつ確実な防疫体制の確保について、各部局ご支援・ご協力をお願い致します。

畜産課) 宜しいでしょうか。以上をもちまして第2回沖縄県特定家畜伝染病防疫対策本部会議を終了いたします。

以上